

教育研修講義

日時 : 平成26年8月28日(木)17時00分～

場所 : 新王子病院 4F会議室A

内容 : 非ST上昇型心筋梗塞

講師 : JCHO 九州病院 内科 田村 恭久先生

症例は、ニトロペン舌下錠使用し胸痛が10/10から4/10へ改善するが消失せず。胸部症状とトロポニンT陽性、ラピチェック(H-FABP)陽性から非ST上昇型心筋梗塞と判断。

HD、ECUM施行し呼吸状態の改善を図ってから冠動脈造影検査施行。右冠動脈Se3に90%の狭窄を認め冠動脈形成、薬剤溶出性ステント留置。胸部症状は消失。

急性冠症候群の発症機序から、心電図ST変化について
ST低下時は心内膜側虚血、ST上昇時では心外膜虚血の状態である事や
急性冠症候群のリスク評価 TIMIリスクスコアについて
心筋梗塞の血液検査所見等、詳細にわかりやすい講義内容でした。

